



学校教育目標 「生命(いのち)輝く子どもを育てる」
 一心はほかほか、学びはしっかり、体ははつらつー」



とひの かふち

《学校だより》 第9号

令和2年8月25日発行
 湯河原町立湯河原小学校
 校長 北村和裕

3週間の夏休みが終わり、子どもたちの元気な姿が再び学校に戻ってきました。保健室前では、暑い日差しに耐えながら2m以上に伸びたひまわりが、子どもたちの登校を今か今かと待ちわびていました。今年はいつもと違う夏休みだったかも知れませんが、夏休み中に貯めたエネルギーをこれからの学校生活に発揮してほしいと思います。



夏休み中、生長したひまわり

新型コロナウイルス感染症の予防については引き続き行っていきます。学校では、手洗いやマスクの着用、人との距離をとることなど「学校での新しい生活様式」を徹底させていきます。ご家庭でも、毎朝のお子さんの検温や体調を確認して健康チェックカードへ記入するなどのご協力をこれからもよろしくお願いいたします。

感染症とともに熱中症にも注意を

夏休みが終わりましたが、まだ8月ですので暑い日が続くことと思います。感染症の予防とともに、暑い中での学校生活においては熱中症にも気を付けなければなりません。学校では、熱中症対策として8月末までは屋外での活動（体育、休み時間の外遊びなど）は行わないようにします。屋内ではできるだけエアコンを使用し、水分補給もこまめに行うようにします。子どもたちの様子を十分に観察しながら健康管理に努めていきます。

学校生活の中で、特に心配なのが登下校時です。文部科学省の通知では、登下校時も、気温・湿度や暑さ指数が高い日にはマスクを外すよう明記されています。学校では、人と十分な距離を確保し、会話を控えるようにすればマスクを外して登下校をするよう指導しています。人との距離を確保する方法として日傘があります。日傘は人との距離を保つとともに、日差しや紫外線から身を守るという効果もあります。日傘がなければ雨傘でも代用できます。ぜひ、試してみてくださいはいかがでしょうか。



校舎裏がすっきり！

夏休み中、校舎内では大きな変化はありませんでしたが、校舎の裏は大きく変化しました。A棟とB棟の北側の斜面は、以前から木がうっそうと生え、枝が校舎にかかるぐらいに伸びていました。もちろん子どもたちも立ち入り禁止です。

今年度、湯河原町で予算を組んでいただき、業者の方々によって校舎裏の斜面の木や草を取り除いていただきました。クレーン車や高所作業車を使っての大きかりな作業です。中には、上の道路から投げ込まれたものらしい廃棄物もたくさんあったそうです。これで見た目がすっきりしたものになるとともに、地震などの災害時に被い茂った木々が校舎に倒れてくるという心配もなくなってきました。子どもたちの安全・安心な環境づくりの1つとなりました。

